

平成28年度第1回卒後学術部放射線部会 勉強会

日時：平成28年5月21日（土）18時30分～20時30分

場所：大阪市立難波市民学習センター 第4研修室

報告者：大阪府立急性期・総合医療センター 宮原哲也

プログラム

1. 「胸部領域を知ろう②」

姫路医療センター 喜田 真一郎先生

2. 「当院における読影補助のありかた」

近畿大学医学部附属病院 角森 靖弘先生

3. 「ヒューマンコミュニケーション」

近畿大学医学部附属病院 西 環先生

報告事項

今年度から物療校友会卒後学術部放射線部会勉強会の会長をさせていただくことになりました、宮原哲也と申します。今年度はよりたくさんの方々の技師の方々また学生の方々に参加していただけるような会にしていきたいと思っております。

先日、平成28年度第1回目の勉強会が開催されました。

1 題目は前回に引き続き喜田先生が胸部領域についてお話してくださいました。

前回の復習も交えながら今回は主に胸部の疾患について画像を見ながら解説してくださいました。わかりやすい内容になっておりました。

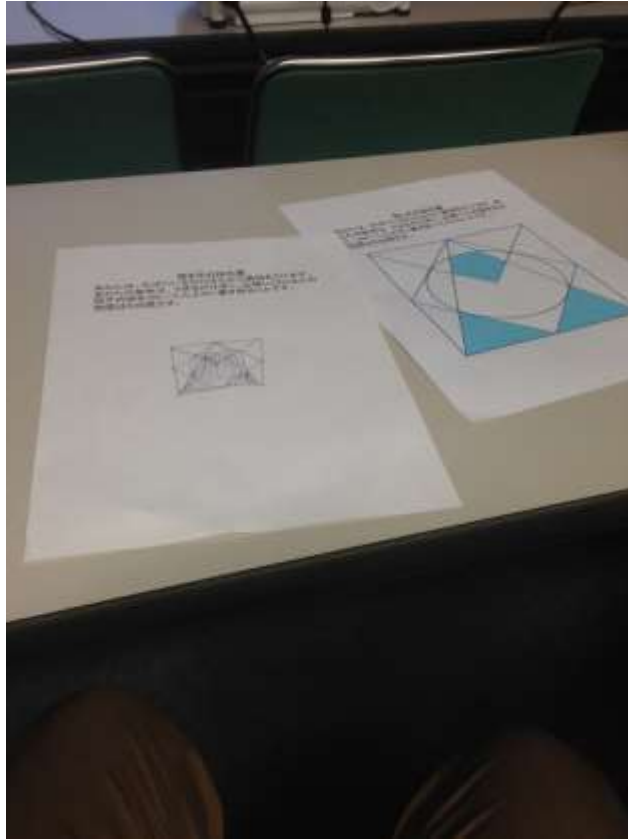
2 題目には近畿大学医学部附属病院の角森さんに腹部領域の疾患を中心に画像の読み方についてわかりやすく説明していただきました。

当直時間帯は放射線科医がいない病院が多いと思いますし、普段画像をみることが少ない先生が当直をしていることも多いかと思いますが、そういった中でわれわれ放射線技師が画像を読み指摘することも大切であり必要なことだと感じました。

3 題目はコミュニケーションについて西先生の方からお話していただきました。

技師と学生でペアを組み聞き手と話し手にわかれて片方が説明したとおりに図を作成するというのをしましたが、どのペアも相手に伝えたいことが上手く伝わっていかなかったり、伝えている内容が不足していたりなどコミュニケーションの難しさを感じました。普段から何気なく病棟からの連絡を受けたり患者さん呼び出したりしていますが相手に上手く内容を伝えられているのでしょうか？また理解できているのでしょうか？コミュニケーションの重要性をとて感じるすばらしい内容だったと思いました。





作成日：平成 28 年 5 月 22 日